

ビール酒造組合 適正飲酒の効能実証研究助成 募集 (2017-2018 年度)

趣旨	適正飲酒に関しては、いくつかの疾病について、いわゆるアルコールの J カーブ効果が謳われているが、本研究では、アルコールの各 J カーブ効果について実験的に検証を積み重ねていくことで、アンチエイジング（健康長寿）に対する効用を実証していく。その結果は飲酒への過度な忌避を防ぎつつ需要を促進する適正飲酒啓発へ活用する。
対象分野	自然科学および社会科学にわたる全分野
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内の大学、短大の研究者</li> <li>・国公立並びに国立研究開発法人等の研究機関の研究者</li> <li>・その他、本組合で適当と認められた研究者</li> </ul>
助成件数 ・金額	2 件程度・1 件あたり最高 150 万円
助成研究期間	2017 年 10 月～2019 年 3 月
募集期間	2017 年 8 月 1 日～9 月 30 日
問合せ先	<p>ビール酒造組合 〒104-0061 東京都中央区銀座 1-16-7 銀座大栄ビル 10F TEL (03)3561-8386 (代表) FAX (03)3561-8380 Email noguchi@brewers.or.jp</p>
採択者の義務	<p><u>助成期間中に研究成果の中間報告・最終報告を行うこと</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告会では、要旨を配布しプレゼンを行う</li> <li>・報告書の提出は不要（要旨・プレゼン資料を提出）</li> <li>・報告の対象はビール酒造組合、(独)酒類総合研究所、ビール酒造組合加盟 5 社の関係者（関係者とは事前に秘密保持誓約を締結する）</li> </ul>
これまでの採択課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「適量飲酒のポジティブ効果」、産業医科大学・三宅晋司教授、平成 24 年 4 月～25 年 3 月</li> <li>・「適量アルコール摂取の健康への影響」、広島大学・加藤範久教授、平成 24 年 4 月～29 年 3 月</li> <li>・「習慣的飲酒者の心理・行動的特性」、広島修道大学・今田純雄教授、平成 24 年 4 月～26 年 3 月</li> <li>・「適量エタノール摂取による変形性関節症予防とその作用機構」、広島大学・松原事典准教授、佐賀大学・萱島知子講師、平成 25 年 9 月～28 年 3 月（佐賀大は平成 27 年 3 月で終了）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大腸ガンにおける適量アルコール摂取の影響」、県立広島大学・嶋本文雄教授、平成 26 年 4 月～</li> <li>・「アルコールの生体防御・免疫機能に対する J カーブの効果の検証」、広島大学・河本正次教授、平成 28 年 7 月～</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで大学等研究機関、(独) 酒類総合研究所、ビール酒造組合の三者による共同研究形態をとっている</li> <li>・研究における役割担当は、申請者が研究実施、(独) 酒類総合研究所は実施支援 (研究計画・立案補助、結果分析等、必要に応じ実施)、ビール酒造組合は費用負担を行う</li> <li>・成果物の取扱いはビール酒造組合の意向を確認の上、学会・論文発表可能</li> <li>・飲酒の良い面・悪い面の両側面をフラットに明らかにすることが目的なので、思わしくない結果が出た場合も、ビール酒造組合の意向を確認の上、学会・論文発表可能</li> <li>・卒論、修論での実施も可能</li> <li>・エビデンス構築が目的なので、積極的な成果報告を推奨する</li> <li>・ビール酒造組合は得られた成果については、実施者の意向を確認の上、当該ホームページ等で公表する場合がある</li> <li>・実施者は複数名でも、応募可能</li> <li>・内容により、単年度でなく複数年計画での応募も可能</li> <li>・助成金の使用は消耗品だけでなく、備品、謝金等に使用可能</li> </ul>

## 申請書記入要領

1 ページ上の申請者の欄には必ずご署名をお願いします。

本文は 10.5 ポイント以上の文字で指定欄内に入る範囲で記入し、3 枚に収めてください。指定欄が他ページに移動することがないようにしてご記入ください。

### 所属機関と職名

大学、大学院等の場合、学部・学科、または研究科・専攻までお書きください。

### 経歴と研究業績

経歴は、下記の例に従い学部卒業以降の学歴、学位と主な職歴を、研究業績は、受賞歴も含めたこれまでの研究の概要をお書きください。論文記入欄は 3 枚目にあります。

学部卒業：19xx 年 x 月 x x 大学 x x 学部 x x 学科卒業

大学院修了：19xx 年 x 月 x x 大学大学院 x x 研究科 x x 課程修了（x x 専攻）

### 研究の目的と意義

研究の独創性・新規性についても記述してください。

### 申請者の近年の主要関連研究論文

著者（共著の場合は原則として全ての氏名を書き、申請者名に下線を付す）、表題、雑誌、巻、ページ、年の順に、10.5 ポイント以上の文字でお書きください。

### 研究助成金の使途

機器、消耗品、旅費などに分けてお書きください。

### 所属長の推薦

所属長として、学部長、研究科長、センター長、研究所長などを想定しています。所属長の氏名を記入し、公印を押してください。

### コピーの作成

申請には、原本のほか、3 枚全てのコピー（片面印刷）を 5 部作成して同封してください。

以上

# 2017-2018 年度「適正飲酒の効能実証研究助成」申請書

(ご署名をお願いします)

申請者

印

2017 年

月

日

受付 月日	
受付 番号	

私は募集要項に記載の事項に同意して、下記の通り「研究助成」を申請します

研究題目：

申請者名：

ふりがな

漢字

19

年

月

日生

所属機関：

職名：

所属機関の住所：(〒    —  )

Tel：(    )    —

Fax：(    )    —

E-mail：

経歴と研究業績：

**研究の目的と意義 :**

**研究計画と研究方法 :**

申請者の近年の主要関連研究論文：

研究助成金の使途

区分	内容	金額 円
----	----	---------

所属長の推薦

「ビール酒造組合研究助成」の対象候補として上記研究者を推薦します。

2017年 月 日

所属機関 \_\_\_\_\_

役 職 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ 公印